

ニューデリー日本人学校 学校だより

JAPANESE SCHOOL, NEW DELHI 2016

http://www.ndjs.org/

第10号 ^{平成29年2月28日}

たすきに思いを託す

校長 槙島 良治

ついこの間、お正月を迎えたかと思ったらもう2月も終わろうとしています。過日行われた学習発表会も随分昔のことのように思えてなりません。当日は、多数の保護者の方にご来校いただきまして、ありがとうございました。子どもたちは、どの学年(学部)も持ち味を十分に発揮し、大きな感動を与えてくれました。本校の素晴らしいところは、子どもたちが自分の発表に満足するだけでなく、来年度は自分たちが先輩方のあとを引き継ぐ番だと強く決意するところにあると思います。こうやって本校の伝統が引き継がれていくのですね。

よく、伝統を引き継ぐことを「たすきをつなぐ」と言います。たすきと言えば、駅伝を思い浮かべる方も多いのではないでしょうか。今回は、毎年、たくさんの感動を与えてくれる箱根駅伝の中で、まれに見る戦いと言われた平成18年の第82回の箱根駅伝での出来事について、お伝えしたいと思います。

箱根に向かう5区の山登りで一気に先頭に立った順天堂大学が往路トップでゴールし、翌日の復路では2位との差を3分近く広げてキャプテンの選手にたすきは渡されました。1、000メートルを3分のペースで21キロメートル。中学生がスポーツテストで走る1、500メートルで考えると4分20秒~30秒のペースで走り続けるわけです。絶対の信頼を寄せるキャプテンにたすきが渡ったとき、もうこれでこのまま逃げ切って優勝だろうなと思われました。ところが、過酷なレースの中、残り5キロメートルという所で、彼の様子に異変が起こりました。右に左にふらふらとし始めました。脱水症状を起こし、意識が薄れてしまったのです。監督が心配して運営管理車から走り出てペットボトルの



水を手渡しましたが、回復しませんでした。3分あった差は瞬く間になくなり、次のランナーの待つ中継所の200メートル前では足が止まってしまいました。中継所ではチームメイトが母校のたすきを待っています。彼は意識がどんどん薄れていく中、懸命に中継所を目指し、たすきを次の九区のランナーに手渡すとばったり倒れてしまいました。中継所の床に寝かされ、意識がもうろうとする彼が最初に言った言葉は、「たすきは?」という一言。前日に山登りで活躍した選手が、「先輩、大丈夫です。つながりました。」と答えている姿をテレビカメラが追っていました。個人のレースならとうに棄権していたでしょうが、チームの一員として責任を果たすという気持ちが、意識のない彼を5キロメートルも走らせたのです。

たすきは単に手渡すものではなく、思いを託すものなのです。1年間のつらい練習の思いを込めて、 レースに出場できないチームメイトの気持ちを込めて、次の選手に託すものなのです。だからこそ彼は、這うようにして中継所に母校のたすきを運んだのだと思います。キャプテンが懸命につないだたすきは4位で大手町にゴールしました。優勝こそ逃したものの、順位以上にたすきをつなぐその姿に多くの人が感動しました。彼は4年生ですから箱根でのリベンジはもうかないませんが、後輩たちにその心を残したのではないでしょうか。

さて学校でも、先輩から後輩へ思いのこもった様々なたすきが託されていきます。校風や伝統と言ってよいかと思います。一つでも順位を上げてつなぎたいのはもちろんですが、大切なのは、思いを託したたすきをしっかりとつないでいくことだと思います。

発表会が終わった時に、私には、子どもたち一人一人の肩に様々な思いが託されたたすきが見えたような気がしました。そして、「間違いなく来年度も素晴らしい学習発表会になるだろう」と確信したのでした。

これが私たちの1年間の成長です!

5日(日) 学習発表会

朝から興奮気味の子どもたち。この日の発表のために昨年末から準備を進めてきました。

今年の発表会も学年ごとの工夫が見られ、大変見応えのある内容となっていたと思います。ご覧になった保護者の皆様はどのような感想をおもちになったでしょうか?プロジェクターの映像が映らないなどのハプニングもありましたが、どの学年の子どもたちもこれまで練習してきた成果を発揮していました。

小学部1年生のかわいらしくユーモア溢れた「大きなかぶ」の劇から中学部生徒による自作のミュージカルまで、それぞれの学年が1年間の成長ぶりを見せていました。特に、6年生の和太鼓の演奏は、1年間お世話になった方に「感謝」の気持ちを届けることをテーマに発表されました。そして、見事な感動を会場のすべての方に与えてくれていました。子どもたちの気持ちが伝わったのではないかと思います。

子どもたちのステージでの発表、教科の作品としての表現など、子どもたちの1年間の確かな学びと成長を感じることができました。





























学しゅうはっぴょうかいで、きらきらぼしのがっそうのときに、てっきんをえんそうしました。すこしまちがえたりしたけれども、じょうずにえんそうができました。わたしは、てっきんいがいのえんそうもしました。こいぬのマーチのときに、けんばんハーモニカをえんそうしました。あるいたり、ステップをしたりしたので、とてもたいへんでした。でもさいごに、みんなが大きなはくしゅをくれたので、よくできたのだなとかんじました。 (G1)

(前略)本番では、ふしぎときんちょうしませんでした。ぶたいのはしで、「つぎ出番だよ。」と教えてあげたりしてきょう力しながらやりました。おきゃくさんがしんけんに見てくれたりわらってくれてうれしかったです。わたしはこの学しゅうはっぴょう会で二つ学びました。一つ目はれんしゅうの大切さです。きんちょうをしてしまうと大きな声は出せないけれど、たくさんれんしゅうをしておけば、じしんがついて 100 パーセントの力を出せるからです。二つ目はやさしさです。つらかったわたしに、やさしいことばを多くの人が言ってくれたおかげで、がんばれました。やさしいことばの力はすごいなと思いました。(後略)

今日は、待ちに待った学習発表会でした。わたしは、家庭教し役でした。学習発表会のじゅんびの時、わたしは、言葉グループに入って家庭教し役をえらびました。理由は、わたしはあまりめだちたくないほうでした。でも、「たまには大きな声をだしてみよう!」と思ったから、家庭教し役をえらびました。そして、練習の時、言う言葉が少しむずかしかったけど、いっぱい練習したからどんどんうまくなっていったのでうれしかったです。そして今日、本番で、大きな声でゆっくりとハキハキ話せたのでとてもうれしかったです。来年は、もっと大きな声でゆっくりとハキハキ話したいです。今日は少しきんちょうしたけれど、すごく楽しかったです。

私が一番思うことは「仲間」の大切さです。私がなかなかうまくいかなかった時、仲間のおかげで、とてもめんどくさがり屋の私が練習を続けることができました。本番や発表の時では、練習の成果を出し切れたと思います。最初の発表はきんちょうもしましたが仲間と練習したことを思い出すと失敗してはいけないと思いました。(中略)お囃子の活動を通して多くのことを学び、自分自身を成長させることができました。

今日は、まちにまった学習発表会です。私が 一番楽しみにしていたのは中学生のミュージカ ルです。題名がとても面白そうでした。今年の 四年生の発表は、インドと日本のダンスをまと めて、テレビ形式にしました。四つの曲に合わ せておどります。ここ一年を通して練習した曲 もあったけれど、いつも少しまちがえてしま い、その時は、お友だちがアドバイスをしてく れたのでうれしかったです。そして本番、三曲 目のエイサーという曲をおどる時、時間がなく てたいこをたたくバチが使えませんでした。し かし、先生がいっていたバチやたいこ、なるこ がなくてもしっかりおどることと言われたのを 思い出しました。来年は、ミスのないように発 表したいです。 (G4)

今日は学習発表会があった。これまでに「よ うこそJAPAN DAY」、夏祭りなどいろ いろな行事で太鼓を発表してきたが、今回が一 番上出来だった。BBSでの発表のときの「天 地」と比べ、そろっていて一体感があった。ま た、「真実の響き」では個人的なミスはあった ものの全体的にみて落ち着きがあり良かった。 「絆」ではこれまで一年間たくさんの時間をか け、がんばってきた成果を十分に出すことがで きた。自分にある全ての力を出し切ることがで き良かった。そして目標である「感謝」をこれ まで手助けしてくれた人、支えてくれた人たち に伝えることができたと思う。ぼくは「天地」 の太鼓リーダーで、とても不安があったが、学 習発表会で成功させることができた。ぼくは、 やっと先生のいっていた一人一輝きを達成する ことができたと思った。 (G6)

思いっきり楽しんで来ました!

8日(水) BBS訪問

小学部4年生から中学部3年生までの子どもたちが、交流校である「ブルーベルズスクール(BBS)」へ行って、交流を楽しみました。子どもたちはこれまで練習してきたダンスやお囃子、和太鼓を発表しました。また、様々なアクティビティーを通して、インド文化を体験したり、BBSの子どもたちと親交を深めたりできました。最後はホーリーです。実にインドらしく、お互いに花びらをかけ合って(ぶつけ合って?)、交流を終えました。





日本人学校とBBSの様々な学年の人たちが一生懸命に見せてくれて、とてもよかった。BBSの人たちが歌ってくれた日本の歌もきれいだったし、日本人学校の4、5、6年生のインディアンダンスやおはやし、たいこも息がそろっていてすごかった。

カリグラフィーではヒンディー語の「あ・い・う・え・お」を書いた。あ行だけで11文字あるらしい。ひらがなよりはるかに難しかった。また、短く切る発音と、伸ばす発音があり、それもなかなか難しい。自分の名前の日本語だと二文字で終わるが、ヒンディー語だととても長くなるので大変だった。

サリーを初めて着せてもらった。少し長い布からあっという間にサリーになってしまう。先生が着せてくれたので、5分もかからず終わった。よくこんな一枚の布からきれいな服に変わるんだと思いつつ着せてもらった。また着る機会があればぜひ着てみたいと思うサリー体験だった。教えてくれた先生方に感謝したい。 (G8)





◆PTA総会終了◆

10日(金)に行われました第2回 PTA 総会に多くの保護者の皆様からご参加いただきありがとうございました。

1年間お世話になりました PTA 役員の皆様に感謝申し上げます。また、新役員にえらばれた皆様、来年1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

そして、PTA活動にご協力いただきました全ての保護者の皆様に感謝申し上げます。本校の教育活動を支えていただきありがとうございました。





	2月の転出入								
転	入	O名	転	出 一2名					
	飯島 新(中1)								
	竹内 春翔 (小4)								
	現在の児童生徒数:計269名								

1月中旬に行われました本年度2回目の学校評価にご協力いただきありがとうございました。今回の学校評価を生かしながら、来年度の学校運営を改善してまいります。紙面に載せきれませんが、多数の貴重なご意見をいただきありがとうございました。

(1) 学校·教室環境

①スクールバスの学校側窓口の設置と、下校時の軽自動車の使用について

スクールバスの運営は保護者主体の運営となっていますので、学校側で新たに窓口の設置は致しません。何かございましたら各バス委員を通じましてバス運営委員会までご連絡ください。必要に応じてバス運営委員会より学校に状況報告をしていただく従来の運営方法にご理解いただけますようお願いいたします。

また、下校時の軽自動車の使用ですが、安全面を考慮し、今後使用しないことにいたします。

②大気汚染への対策と休校措置について

本校では、PM2.5への対策として、約70台の空気清浄機を各教室や廊下に設置するとともに、数値に応じて活動に制限をつけながら学習活動を進めています。また、学習指導要領に準じて計画的に学習活動を行っているため、安易に休校措置を取ることができません。そのため、休校措置については、デリーにある各国の学校から情報を収集し、決定しています。(ディワリ後も同様でした。)ご理解とご協力をお願いします。また、来年度は大気汚染への対策として、ディワリ休業を例年より長く設定しています。

③セキュリティーについて

安全な学校づくりのためにもセキュリティーの問題は、重要な課題だと認識しております。ゲートでのセキュリティー・チェックについては、保護者のみなさんにIDカードの携帯を呼びかけるとともに、セキュリティスタッフに対してチェックの手順を確認し、確実に行うよう指導していくことで警備を強化します。また、学校施設・設備に関しては、より安全な環境づくりができるよう、専門家の指導を仰ぎ、優先順位を考えながら整備を進めていきます。

(2)教育課程関係

①スナックタイムの導入について

現在の教育課程の中に、スナックタイムを導入するのは難しいのが現状です。

②フリー参観ウィーク期間の短縮と授業内容について

授業参観日とフリー参観ウィークでは、目的が少し異なってきます。通常の教育活動を広く参観していただくためにも、来年度も例年どおりの実施を計画しています。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

③個人懇談の時期(定期テスト後に変更依頼)について

個人懇談の日程にかかわらず、ご質問やご相談はいつでもお受けいたします。気軽に担任までご連絡をいただければと思います。よろしくお願いします。

(3) 児童生徒指導

①あいさつについて

本校では「さわやかなあいさつが飛び交い、笑顔があふれる学校」を目指しています。さわやかなあいさつができるよう、様々な働きかけをしていきたいと思います。また、学校職員も保護者と一緒に模範となれるよう心がけていきます。ご家庭でもご指導いただけますよう、よろしくお願いいたします。

(4) 学習指導

①幅広い応用力を身につけられる授業について

幅広い応用力を身につけるためにも、基礎・基本の確実な定着や、思考力・判断力・表現力の育成を図ること目指し、授業づくりを進めていきたいと思います。

(5) 英会話

①授業時間数の増加希望について

英会話の授業時数を増やすことは、現状の教育課程では難しいと考えます。英会話の授業を増やすと他の教料の授業時数が減り、文部科学省が示している学習指導要領の学習内容を十分に実施することが難しくなります。現在、低学年(G1~G3)については週に1時間を活用して英語活動を行っています。また、これまでは英会話の授業において、宿題は課しておりません。授業時間内で十分な英語力を身につけられるよう、授業内容を工夫していきたいと考えています。

②授業内容の改善について

今年度の英会話の授業において、低学年ではゲームやアクティビティーなどを通して、できるだけたくさん 英語(英単語)にふれる機会を設けることを目標に進めてきました。また、4年生以上では、基本的な英単語 や英文を定着させるとともに、これまで身につけた英語力をより伸長できるような授業を進めてきました。低 学年でもより実用的な英会話力に身をつけられるよう、講師とともに授業改善に努めていきたいと考えていま す。さらに、授業中は講師も含め、児童生徒もできるだけ英語のみで会話するなど、授業中のルールも徹底し ていきたいと考えています。

(6) その他

①体力づくりについて

運動の機会をつくるため、今後どのような方法がとれるのかを検討していきます。

②長期休業中の補習クラス設置の希望について

現在のところ、そのような計画はありません。

③餅つき体験に代わる新しい行事について

餅つき体験の代わりに新たな行事を設定することは考えておりません。いただいたご意見をもとに、学年や 学年部での取組ができないか検討していきます。

④大気汚染時の出欠について

様々な事情により、ご家庭の判断で欠席された場合でも、欠席となることは変わりません。また、その際の 事由は「家事都合」になります。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

⑤児童生徒証(英語表記版)の作成依頼について

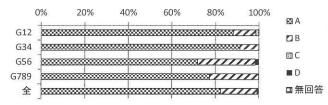
ご意見ありがとうございます。今後検討していきます。

【平成28年度 第2回学校評価 選択アンケート結果】

A: そう思う B: どちらかというとそう思う C: どちらかというと当てはまらない D: 当てはまらない

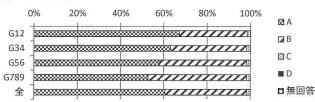
Q1 お子さんは、学校へ行くことを楽しみにしている。

	Α	В	С	D	無回答	総計
G12	59	7	1	0	0	67
G34	52	5	0	0	0	57
G56	41	15	0	1	0	57
G789	41	12	0	0	0	53
全	193	39	1	1	0	234
全体割合	82.5%	16.7%	0.4%	0.4%	0.0%	100.0%



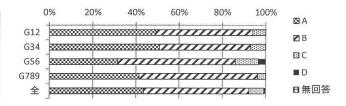
Q2 お子さんは、授業内容がわかり、基礎的な学力が身についている。

	Α	В	C	D	無回答	総計
G12	45	21	1	0	0	67
G34	36	20	1	0	0	57
G56	33	23	1	0	0	57
G789	28	24	7	0	0	53
全	142	88	4	0	0	234
全体割合	60.7%	37.6%	1.7%	0.0%	0.0%	100.0%



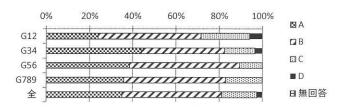
Q3 お子さんは、英会話の授業を楽しみにしている。

	Α	В	С	D	無回答	総計
G12	33	30	4	0	0	67
G34	29	24	4	0	0	57
G56	18	31	6	2	0	57
G789	22	29	2	0	0	53
全	102	114	16	2	0	234
全体割合	43.6%	48.7%	6.8%	0.9%	0.0%	100.0%



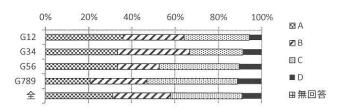
Q4 お子さんは、進んで家庭学習を行っている。

	Α	В	С	D	無回答	総計
G12	16	32	15	4	0	67
G34	25	22	8	2	0	57
G56	22	29	6	0	0	57
G789	19	25	9	0	0	53
全	82	108	38	6	0	234
全体割合	35.0%	46.2%	16.2%	2 6%	0.0%	100.0%



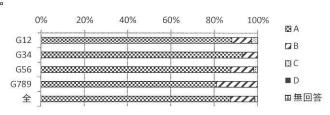
Q5 お子さんは、家庭でよく読書をしている。

	Α	В	С	D	無回答	総計
G12	24	19	20	4	0	67
G34	19	19	14	5	0	57
G56	19	11	21	6	0	57
G789	11	14	22	6	0	53
全	73	63	77	21	0	234
全体割合	31.2%	26.9%	32.9%	9.0%	0.0%	100.0%



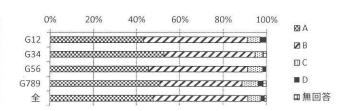
Q6 お子さんは、さまざまな行事に楽しく参加している。

	Α	В	С	D	無回答	総計
G12	59	6	2	0	0	67
G34	53	4	0	0	0	57
G56	50	6	1	0	0	57
G789	43	10	0	0	0	53
全	205	26	3	0	0	234
全体割合	87.6%	11.1%	1.3%	0.0%	0.0%	100.0%



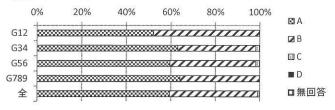
Q7 お子さんは、学校に相談できる人がいる。

	Α	В	С	D	無回答	総計
G12	29	32	4	2	0	67
G34	30	24	2	0	1	57
G56	26	26	4	1	0	57
G789	27	20	4	1	1	53
全	112	102	14	4	2	234
全体割合	47.9%	43.6%	6.0%	1.7%	0.9%	100.0%



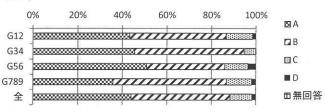
Q8 お子さんは、友達に対して思いやりの気落ちをもって行動できている。

	Α	В	С	D	無回答	総計
G12	35	32	0	0	0	67
G34	36	20	1	0	0	57
G56	34	22	1	0	0	57
G789	34	19	0	0	0	53
全	139	93	2	0	0	234
全体割合	59.4%	39.7%	0.9%	0.0%	0.0%	100.0%



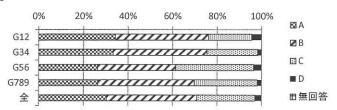
Q9 お子さんは、「おはよう」や「いってきます」などのあいさつを

	Α	В	С	D	無回答	総計
G12	29	29	8	1	0	67
G34	26	28	3	0	0	57
G56	29	20	6	2	0	57
G789	19	27	6	1	0	53
全	103	104	23	4	0	234
全体割合	44.0%	44.4%	9.8%	1.7%	0.0%	100.0%



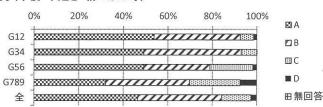
Q10 お子さんは、遊びや運動を通して体を鍛えている。

	Α	В	С	D	無回答	総計
G12	23	28	13	3	0	67
G34	19	24	13	1	0	57
G56	15	20	20	2	0	57
G789	14	23	15	1	0	53
全	71	95	61	7	0	234
全体割合	30.3%	40.6%	26.1%	3.0%	0.0%	100.0%



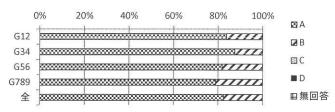
Q11 お子さんは、家庭での生活リズムを大切にしている。(早寝・早起き・朝ごはん等)

	Α	В	С	D	無回答	総計
G12	36	26	4	1	0	67
G34	28	25	4	0	0	57
G56	28	17	11	1	0	57
G789	17	20	12	4	0	53
全	109	88	31	6	0	234
全体割合	46.6%	37.6%	13.2%	2.6%	0.0%	100.0%



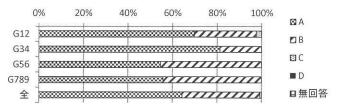
Q12 学校は、熱意をもって教育活動に当たっている。

	Α	В	С	D	無回答	総計
G12	36	7	0	0	0	43
G34	28	4	0	0	0	32
G56	27	6	0	0	0	33
G789	41	11	0	0	0	52
全	132	28	0	0	0	160
全体割合	82.5%	17.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



Q13 学校は、子どものことを理解してきめ細やかな指導をしている。

	Α	В	С	D	無回答	総計
G12	30	12	1	0	0	43
G34	26	6	0	0	0	32
G56	18	15	0	0	0	33
G789	29	23	0	0	0	52
全	103	56	1	0	0	160
全体割合	64.4%	35.0%	0.6%	0.0%	0.0%	100.0%



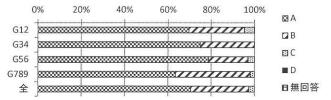
Q14 学校は、子どもにかかわる相談について、誠意をもって対応している。

	Α	В	С	D	無回答	総計
G12	30	12	1	0	0	43
G34	25	7	0	0	0	32
G56	19	13	0	1	0	33
G789	39	13	0	0	0	52
全	113	45	1	1	0	160
全体割合	70.6%	28.1%	0.6%	0.6%	0.0%	100.0%

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
						j	⊠ A
G12	*********	************	************	***************************************		111	ra B
334	*********	***************************************	····	***********	****///		
G56	3000000				mi	77	■ C
789	300000				33 <i>7777</i>	777	■ D
全	**********				11111		田無回答

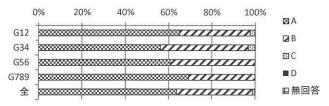
Q15 学校は、子どもたちにとって安心·安全な場所になっている。

	Α	В	С	D	無回答	総計
G12	30	11	2	0	0	43
G34	24	8	0	0	0	32
G56	26	6	1	0	0	33
G789	33	18	1	0	0	52
全	113	43	4	0	0	160
全体割合	70.6%	26.9%	2.5%	0.0%	0.0%	100.0%



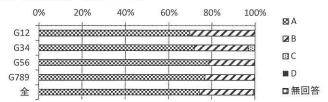
Q16 学校は、保護者の声に耳を傾け、それを反映させた教育活動を進めている。

	Α	В	С	D	無回答	総計
G12	28	14	1	0	0	43
G34	18	13	1	0	0	32
G56	20	13	0	0	0	33
G789	36	16	0	0	0	52
全	102	56	2	0	0	160
全体割合	63.8%	35.0%	1.3%	0.0%	0.0%	100.0%



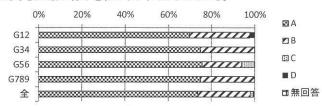
Q17 学校は、学校理事会やPTAと連携してい子どもたちの教育活動に当たっている。

	Α	В	С	D	無回答	総計
G12	30	13	0	0	0	43
G34	23	8	1	0	0	32
G56	26	7	0	0	0	33
G789	40	12	0	0	0	52
全	119	40	1	0	0	160
全体割合	74.4%	25.0%	0.6%	0.0%	0.0%	100.0%



Q18 学校は、学校・学級だよりやホームページを通して、学校生活の様子をわかりやすく知らせている。

	A	В	С	D	無回答	総計
G12	30	12	0	1	0	43
G34	24	8	0	0	0	32
G56	25	6	2	0	0	33
G789	39	13	0	0	0	52
全	118	39	2	1	0	160
全体割合	73.8%	24.4%	1.3%	0.6%	0.0%	100.0%



Q19 ニューデリー日本人学校の教育活動に満足している。

	Α	В	С	D	無回答	総計
G12	37	5	0	1	0	43
G34	23	9	0	0	0	32
G56	27	6	0	0	0	33
G789	42	10	0	0	0	52
全	129	30	0	1	0	160
全体割合	80.6%	18.8%	0.0%	0.6%	0.0%	100.0%

